

# 社会保険労務士篠原事務所

## 研修メニュー

研修内容	目的	時間	料金
ゲームトレーニング	設定された状況においてグループでのゲームを通じ、日頃の無意識に行っている行動やコミュニケーションに対する気づきを促進し、今後の改善につなげていきます。	2～3時間	1回/2万円
ソーシャル・スタイル研修	ソーシャル・スタイル理論を通じて対人関係を学びます。他人から“観察できる”その人の行動傾向を判断出来るようになります。	1～2時間	1回/2万円
セクシャルハラスメント防止研修	セクシャルハラスメントを防止する体制、考え方、他人との関わり方を学びます。必須研修の一つです。	1～2時間	1回/2万円
パワーハラスメント防止研修	パワーハラスメントを防止する体制、考え方、部下の指導方法を学びます。必須研修の一つです。	1～2時間	1回/2万円
コンピテンシー作成研修	「仕事の出来る人の行動特性」を抽出、言語化し、業績向上につなげるプログラムです。モチベーションアップを図ることも出来ます。	1日	1回/10万円
行動力アップ研修	管理職研修のメニューで、行動力を向上させるプログラムです。受講後3～6か月間の課題提出も含まれます。	1～2日	1回/10万円
思考力アップ研修	管理職研修のメニューで、思考力を向上させるプログラムです。論理的な考え方やプロセス分析などの分析方法を学びます。	1～2日	1回/10万円
SPカード研修	SPカードを使って、自己理解や他者理解を深める研修です。なりたい自分を目指し、行動に結びつけていくことも出来ます。	1～2時間	1回/2万円
持ち味カード研修	持ち味カードを使って、自己理解や他者理解を深める研修です。会社の求める持ち味とのギャップを理解し、目標設定する事で行動に結びつけていくことも出来ます。	1～2時間	1回/2万円

お問い合わせは・・・社会保険労務士 篠原事務所まで

〒870-0951

大分市大字下郡 1602-1 大分県保険医会館 2-8

TEL : 097-574-4604 FAX : 097-574-4614

E-mail : sr-shino@oct-net.jp HP : <http://www.happy-spiral.jp>



# ゲームトレーニング 詳細

## チャレンジマップ

内容とゴール	約 60 枚のそれぞれ断片的文字情報の書いてあるカードを渡してトランプのように配布します。メンバー各自がその個別情報を提供することで、グループで 1 枚の地図を完成させます。
ねらい	断片的な情報を組み合わせ、短時間で効率的に一つの全体像を形にしていく際のコミュニケーションや情報の取り扱いを学びます。「他人の意見に左右される」「自分の正当性ばかり強調する」等の日常的なコミュニケーションの問題のあるパターンが浮き彫りになります。情報の絞り込み方とチーム内での自分のコミュニケーションのあり方を自覚し、学ぶことがねらいです。

## 穴あき図形

内容とゴール	グループに約 10 センチ四方の正方形の紙片と、それより小さな図形の紙片のセットが配布されます。正方形の紙片は真ん中に複雑な図形が切り抜かれています。グループ内で情報を交換し合い、自分の正方形の真ん中に開いている図形と同じ形の小さな紙片を持っている人はだれか？ 自分の小さな紙片を必要としている人は誰か？ を言葉のみで探し当てるゲームです。
ねらい	情報の正確な伝達、正確な聞き取り、そして確認をねらいとします。「言ったつもり」や「聞いたつもり」ではこのゲームは完成しません。「相手が理解できるように伝える」「自分が理解できるまで確認する」ということを学ぶことがねらいです。相手に合わせて情報の出し方を変えたり、自分の認識を変えたりする、相手に合わせた柔軟な思考や表現の仕方、あるいは確認などの高度なコミュニケーションを体験し、学びます。

## 協力ゲーム

内容とゴール	グループ各自に様々な形と大きさの紙片のセットが配布されます。グループメンバーは無言で紙片を交換し合い、全員が同じ大きさ・同じ形の図形になるように組み合わせます。
ねらい	自分が何かを行う時の癖やパターンが明確に現れます。メンバーの分まで抱え込むタイプや人任せな無責任タイプ、自分の分をさっさと作って我関せずタイプなど。メンバー全員が他のメンバーの形や進行状況を把握しながら、協力していく姿勢がないと、完成しません。グループとして課題を達成するためにはメンバー同士の「あと一歩」の協力が必要であることなどを学び、今後の改善に活かしていくことがねらいです。

## 9人のポジション

内容とゴール	16 枚のそれぞれ別な断片的文字情報の書いてあるカードを渡し、メンバー各自にトランプのように配布します。メンバー各自がその個別情報を提供することで、ある企業の野球チームのメンバーとポジションを見つけ出します。
ねらい	様々な情報を多角的に比較し、組み合わせないと答えが導き出せません。したがって、情報のやり取り、コミュニケーションはもとより、論理的な思考や情報の推理、整理の仕方などが求められます。

## 南極観測隊 海難事故

内容とゴール	この2つはコンセンサス（合意）ゲームです。ゲーム主題における自分の考えをまとめ、次にグループメンバーが一人ひとりそれを発表し、最終的にグループとしての総意をまとめます。その後、ゲームの正解を発表し、各グループが正解からの誤差を測定し、その結果を競い合います。
ねらい	グループ内での意見のコンセンサス（合意）をどれだけうまく取るかによって成果が左右されます。自分の意見をハッキリと語り、メンバーの意見と違った場合には、納得する答えを全員で話し合うプロセスが問われます。